



広島市シニア大学院

広 報 誌

だいがくいん



令和 7 年度第 9 号 (8 年 1 月 26 日)

編集/発行 大学院自治会文化部

平成 28 年 8 月創刊

<令和 7 年度 第 2 回 班別野外レクリエーション報告—2>

* 1 班 実施日 2025 年 12 月 3 日 見学場所 広島市江波山気象館

私達 1 班は、広島市江波山気象館(旧広島地方气象台)に行ってきました。
建物自体が広島市指定重要文化財となっています。

当日晴天ではありましたが、真冬並みの寒気が流れ込み寒風強き日でした。
最初係の方から天気の基本知識、気圧には基準値が無い、データの蓄積から予報が成り立っている事、最近の線状降水帯の話等とても興味深く教示して頂きました。



原爆当日のお話で、当時の職員さんから、ピカッと光って直ぐ机の下に隠れ
数をかぞえ 5 秒で爆風が届いたとの話が残っているそうです。その話から江
波山まで 3.5 km。それでその風速が 700m という計算になるそうで、風速 20
m の台風でも耐えられないのに、原爆投下の威力に今更ながら驚きと共に当
時の気象館の職業意識に感動しました。



その後、屋上に上がり広島市を眼下に望みながら、写真撮影し、大学祭の
『シニア大学応援歌』をみんなで元気に歌い、体験コーナーに移動し、原爆の折、爆風で壊された窓ガラスの破片が
壁に刺さっているのを見学したり、風速 20m 台風時の雲の湧きあがり方、突風カプセルで強い風など自由に体験し
ました。

楽しみであった会食『シェ・ヤマライ』で、名物の牡蠣の 5 種類の違う調理に舌鼓をうち、次回新年会の話も出
る和やかで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

【1 班 文化部 赤水由紀枝】

* 5 班 実施日 2025 年 11 月 27 日 見学場所 頼山陽史跡資料館及び旧日本銀行広島支店

大学院 5 班は少人数のため、第 2 回野外レクリエーションとして予約不要の
頼山陽史跡資料館に行きました。



袋町バス停近くで閑静な佇まいです。
6 名が参加し、常設展で頼山陽、企画展
で頼春風について学び、墨絵練習コー
ナーも体験しました。時間があつたので旧
日本銀行広島支店にも立ち寄り、懇親会
場は「おばんざい AGRI」で、おいしい食事といろいろな話題のおしゃべりを
楽しみました。



【5 班 副班長 大木典雄】

*** 6 班 実施日 2025 年 12 月 8 日 見学場所 広島市西消防署**

12 月 8 日冬の穏やかな日、6 班 17 名で広島市西消防署の見学に行きました。

まず、目を奪われたのは、6 階建ての外側をガラスで覆われた斬新なデザインでした。

これは、日本を代表する建築家 山本理顕氏 によるものだそうです。4 階が展示室兼見学テラスになっていて、吹き抜けの内部もガラスを使ってあり、仕事中の人達の姿も見えます。



地下に行くと最上階まで見通せる明るくて広い空間が広がり、そこに訓練用の網やネット、棒が渡してあります。当日は、そこに梯子を立てて出初式の技の練習をしておられ、思わず皆で拍手をしました。

署内を案内いただいた方は、親切で丁寧に質問に答えられ写真も撮ってください、防火対策についてもしっかり念押しされました。

終了後は、「本通り然然」で籠に華やかに盛られたランチをいただき、話に花を咲かせました。

【6 班 班補佐 佐賀純子】

*** 7 班 実施日 2025 年 11 月 22 日 見学場所 日本銀行広島支店**

私たち 7 班は、今年の 9 月に開設 120 周年を迎えた中区基町にある「日本銀行広島支店」を見学に行きました。ここは平成 4 年 3 月に袋町の旧日銀（被爆建物）から移転し、現在三代目の建物です。

建物内の説明や、日銀と他銀行の違い、11 もあるお札の偽造防止技術の見方、硬貨や札束の重量体験など盛りだくさんの内容でした。

印象的だったのは、1 階奥にまるで料理教室のごとくテーブルを囲んだ黒いエプロン姿の人々。



ここは焼けたり汚れたりして持ち込まれたお札を鑑定し交換できるものを選別する場所で、行員さんたちの衣服汚染防止のためエプロンをつけているとの事。先の西日本豪雨災害時にもたくさんのお札が持ち込まれたそうです。

また 1 億円の札束はとても重く「こりゃ持って逃げれんわ」など言いながら楽しく見学できました。

見学後はそごうの「加賀屋」でおいしいランチをいただき皆で歓談の後解散となりました。

【7 班 文化部 國中一子】

編集後記

各班の皆様のおかげで、今号も楽しい紙面になりました。いつもご協力ありがとうございます。

新年を迎え、二年生の皆様と共に過ごせる時間もあと僅かとなりました。さらに新年度から班編成改編の動きもあり、寂しい思いもしますが、シニア大学院は「人生を楽しく豊かにするところ」、新たな出会いも楽しみたいと思います。

【1 年 2 班 文化部長 板野明子】